

## 1. 活動のテーマ

### <テーマ>

神様からのプレゼント

### <テーマの設定理由>

- ・カトリック園で生活の節目ごとに祈る機会がある
- ・月に数回教会訪問や神父様の話を聞く
- ・創世記の話を聞き、神様が世界が作られたことを知り想像する姿があった。

## 2. 活動スケジュール

- ・定期的に神父様の話を聞き、神様のなさったことや考えに触れる
- ・創世記の話を聞く
- ・神様がお創りになっと物を表現してお祭りのシンボルタワーを製作する
- ・クリスマス会で聖劇をする
- ・聖劇に出てくる不思議な星の存在や神様が作られたものに興味を示し、プラネタリウムで星や惑星について学ぶ

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

台本製作 衣装 会場

## 4. 探究活動の実践

### <活動の内容>

- ・クリスマス会で聖劇をする

神様が世界をお創りになってからイエス様がこの世に来るまでの聖書の出来事を伝えると毎年行っているクリスマス会に向けての思いも深まり、子どもなりにどうして「救い主」が登場する事になったのかを考え、聖書の言葉を伝えるためにそれぞれの役を演じる。

### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

救い主としてイエス様が来られたという部分は子どもには難しい内容ではあるが、神様のみんなに心の優しい人になって欲しいという思いを知らせるためにイエス様がお生まれになったのだということはしっかりと伝わり、そのためにどんなことがあったのかを台本を読んだり、聖歌を歌ったりすることで子どもなりに受け止め、劇で表現しようとしていた。聖書の言葉は長く難しいものもあったが、友だち同士声をかけあって自主的に一緒に練習したり、台詞が出てこない時にはそっと助け舟を出すなど力を合わせてひとつに物を作り上げる喜びや楽しさを味わっていた。



## 5. 振り返り

### <振り返りによって得た先生の気づき>

毎年受け継がれているクリスマス会の聖劇なので、初めは憧れが大きかったと思うが台詞を覚え、劇が形になっていく中で印象的な台詞や歌詞を心に留めているように感じた。鼻歌がクリスマスの聖歌になっていることから子どもたちにとって大きなものになっているようだ。ひとつの長い話をみんなで力を合わせて劇として表現し成功したという経験はとても大きな自信に繋がっている。